

だれのための入試制度なの？

「高校入試制度(第二次案)」を考えるフォーラム



2019年11月30日(土) 13:30~15:30 ※受付開始 13:00~

会場:松本市あずさ会館 大会議室

(松本市大字島内1666番地777 0263-47-1427)

長野県教育委員会から「高校入学者選抜制度(第二次案)」が公表され、10月には教職員への説明会、11月には県下5会場で児童・生徒・保護者への説明会が実施されます。第二次案ではパブコメ等で意見が寄せられた「複雑さ」への配慮として若干の変更があったものの、制度の基本設計は変更が無く、前期にも学力検査導入、調査書の全ての項目を選抜資料とする、「その他の検査」を全ての高校で行うなど、子どもたちや教職員の負担が増加し、選別が強化され、受験競争の激化が懸念される制度です。

当事者の視点から入試制度について検討し、率直な意見を届けていく必要があります。そのために児童・生徒・保護者・教職員をはじめ広く県民の皆さんが集まり、意見交換をするフォーラムを開催します。多くの皆さんの参加をお願いします。



<日程・プログラム>

- 13:00~ 受付
- 13:30~ 主催者あいさつ
- 13:35~ 報告:入試制度(第二次案)で提案されていること
- 13:55~ 各団体・個人からの報告
- 14:30~ 参加者による意見交換
まとめととりくみの提起
- 15:30~ 終了予定



←二次案の詳細は
こちらから

「二次案について考えるパンフ」は
こちらから→



☆ 主催:長野県の教育を考える会

事務局:長野県教職員組合

☎ 026-235-3700

長野県の教育を考える会は、県内の教育研究者、信州の教育と自治研究所、県教組、高教組など36団体と個人で2012年に発足しました。